

# 南硫黄島周辺海底火山の最近の活動 等について\*

海上保安庁水路部

本会報第35号に報告した後の南硫黄島周辺海底火山の活動状況は、以下のとおりである。

ここで報告する期間は、1985年（昭和60年）12月23日から1986年（昭和61年）9月4日までである。

1.	福神海山	北 緯	21度56分
		東 経	143度28分
	日光海山	北 緯	23度04.5分
		東 経	142度18.5分
	南日吉海山	北 緯	23度30.4分
		東 経	141度54.3分

第1表に示すように、この期間はいずれの海底火山にも変色水は認められなかった。

第1表 福神海山・日光海山及び南日吉海山の火山活動の経過

Table.1 Volcanic activities of the Hukuzin Seamount, Nikko Seamount and the Minami-Hiyosi Seamount

Date	Results of Observation	Reported or Observed by
Dec. 23, 1985	Discolored was not observed	No. 4 Air Wing Maritime Self-Defense Force
Jan. 21, 1986	"	"
Feb. 14, 1986	"	"
Mar. 18, 1986	"	"
Apr. 16, 1986	"	"
May. 19, 1986	"	"
Jun. 18, 1986	"	"
Jul. 8, 1986	"	"
Jul. 9, 1986	"	Ys-11 (LA 701), Maritime Safety Agency
Sep. 4, 1986	"	No. 4 Air Wing Maritime Self-Defense Force

\* Received Sep. 11, 1986

2. 福徳岡ノ場	旧 北 緯	24 度 18.1 分
	東 経	141 度 29.0 分
	新 北 緯	24 度 17.0 分
	東 経	141 度 29.1 分

福徳岡ノ場の位置として、従来から北緯 24 度 18.1 分、東経 141 度 29.0 分を使用してきたが、昭和 61 年 1 月 20 日、海上保安庁所属の測量船「拓洋」が噴火口を複合測位装置により測定した結果、北緯 24 度 17.0 分、東経 141 度 29.1 分となったため、今後この値を採用する。

3. 海徳海山	北 緯	26 度 07.3 分
	東 経	141 度 06.1 分

第 2 表に示すように、この期間は変色水は認められなかった。

第 2 表 海徳海山の火山活動の経過

Table.2 Volcanic activities of the Kaitoku Seamount

Date	Results of Observation	Reported or Observed by
Dec. 27, 1985	Discolored was not observed.	No. 4 Air Wing Maritime Self-Defense Force
Jan. 21, 1986	"	"
Mar. 18, 1986	"	"
Apr. 16, 1986	"	"
May. 19, 1986	"	"
Jun. 18, 1986	"	"
Jul. 8, 1986	"	"
	"	YS-11 (LA701), Maritime Safety Agency
Jul. 10, 1986	"	"
Aug. 23, 1986	"	No. 4 Air Wing Maritime Self-Defense Force
Sep. 4, 1986	"	"